

安全作業手順書【伸縮装置取替工】

見積り基準とした危険性の評価			
重大性(B)	○ 軽微 (不休と作業3日以内)	△ 重大 (休業4日以上)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)
可能性(A)	○	△	×
○ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○ (極めて小さい)	△ (かなり小さい)	× (中程度)
△たまに起こる (1年に1回程度)	△ (かなり小さい)	△△ (中程度)	△× (かなり大きい)
×かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	× (中程度)	×△ (かなり大きい)	×× (極めて重大)

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性の見積り	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対処が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし (備忘事項)
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路(豊田IC～春日井IC) 名古屋第二環状自動車道 (名古屋IC～飛鳥北IC,有松IC～上社JCT)
機器工具	ロードカッター、ブレーカー、チャッパ、スコップ、ジョレン、削岩機、ハンマードリル、発電機、バイブレーター 小型移動式クレーン、清掃用具一式	保護具	ヘルメット、安全チョッキ、安全くつ、保護メガネ、保護マスク、皮手袋、軍手

作業区分	作業手順・作業内容	急所	危険ポイント (～なので～になる)		リスクの見積り			安全対策(危険度2以下へ) (私達はどうする)			リスクの再見積り		
			(A)	(B)	リスク	(A)	(B)	リスク					

準備工	作業確認	作業の打合せ(KY)を行なう	作業員全員で	手順を間違えて思わぬケガをする	△	×	4	全員で手順書、KYの内容を周知する	○	○	1
		作業員の役割(運転手、助手)を決める	免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って	免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう	○	×	3	乗車時に必ず免許区分明示車両対付かを確認する	○	△	2
		作業場所及び車線を確認する	上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように	/	/	/	/	/	/	/	/
		交通規制状況を確認する	必ず当日の規制簿を使用して	/	/	/	/	/	/	/	/
		ケーブル近接協議の内容を確認する	試運転を伴う場合は協議日を確認して	協議承認日以前に作業を行ってしまふ	△	×	4	作業日と協議日とを照合し、確認を行う	○	○	1
		小型移動式クレーン及び高所作業車の点検を行う	手順書に則り	小型移動式クレーン及び高所作業車作業手順書に則る							
		しらすだーの動作確認及び点検を行う	朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする	電池切れて緊急時、逃げるのが遅れる	△	×	4	毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する	○	○	1



本作業	車両確認 作業車両準備 作業車両点検 出発準備 出発 規制内進入 車両移動 停止 逸走防止	25.車両回送手順書に則る
-----	---	---------------

使用機器等	車両から必要機械を除く	①手袋などを着用して	①荷台から飛び降りて怪我をする	△	△	3	無理な搬出はせず、サイドカバー・タイヤ等安全な足場から車両に正対して昇降する。飛び降りない。	○	○	△	2
		②手・指が挟まれて怪我をする	ロードカッターを小型移動式クレーンで荷降しする際に一般車両に接触する	○	×	3	通行帯の反対側に旋回させる	○	○	○	1
カッター工	補修予定ラインを引く ラインに沿ってロードカッターで舗装面にカッターを入れる	①舗装カッターに水を注入して、水が本線に出ないように	/	/	/	/	/	/	/	/	/
		②橋梁上などは、舗装厚に注意して	舗装厚以上を切り込み、床版を傷つける	○	×	3	事前に現場の舗装厚を調べておく	○	○	○	1
はつり工	ブレーカー、ピック等で舗装版をはつり取る 既存の伸縮装置を撤去する	車線側では必ず飛散防止ネットを使用して	ブレーカーのホースが外れ走行車両に接触する	○	×	3	使用前後に履みが無いか確認する	○	○	○	1
		床版の折り過ぎに注意して 保護具の着用を必ず行い	はつりがらが一般車両に飛散する	○	×	3	飛散防止ネットを設置してからはつり	○	○	○	1
		橋梁下方への落下物に注意して 監視員を下場側に配置して	飛散防止ネットが強風により倒れ接触を起こす	△	△	3	必ず安全くつを着用しガラかきはノミのそばに手を出さない ①飛散防止ネットの四隅にウェイト(30kg程度)を設置する ②作業車両または遮音壁、Gr等構造物にロープで2点固定する (ロープ固定が難しい場合は人力2人以上にて押さえる)	○	○	○	1
		はつり部分を綺麗に清掃し、出来形検測を行う	物塵が目、肺に入り病気になる	△	×	4	保護メガネ、マスクの安全着用を行う	○	○	○	1
伸縮装置 設置工	クレーンを使用し組み立ててある伸縮装置を設置面所に移す エアードリルで剛孔し、アンカーを打設する 補強鉄筋の溶接を行う	必ず有資格者を選任して 玉掛け用具の点検・荷重の確認をして	無資格者がクレーンを操作し、事故を起こす	△	×	4	職長は必ず作業員全員の資格取得状況を把握し、 資格所有者は資格証を必ず持参すること	○	○	○	1
		巻込みの危険性があるため、手袋等は着用せずに 保護具の着用を必ず行い 現場・及び下場への防火対策を必ず行い	剛孔時、発生した塵が身体に入り被災する 溶接時の発行を直視し、眼炎を起こす 溶接による爆りに気づかず、周囲で火事が発生する	△	×	4	保護マスク、メガネを着用して剛孔を行う 保護メガネを必ず着用する	○	○	○	1
コンクリート	ジェットモビル車にて超硬コンクリートを打設する	車両の監視・誘導員を必ず配置して 下場への止水状況を確認して	規制車線側にてモビル車が一般車と接触する 止水装置が十分行われず、下場への影響が生じる	△	×	4	溶接終了後、及び現場離脱後には必ず状況確認を行う 必ず車両専属の監視・誘導員を配置する 必ず下場監視員を配置し、異常が見られたら現場を中断する	△	△	○	2
		モビル車との離隔に十分注意して	モビル車と作業員が接触する	△	×	4	必ず車両専属の監視・誘導員を配置し 車との離隔に十分に確保する	○	○	○	1
養生	皮膜養生剤、又はシートにてコンクリートの養生を行う	必ず飛散防止措置を行い	/	/	/	/	/	/	/	/	/
出来形検測	出来形検測を行う	周囲に十分注意して	/	/	/	/	/	/	/	/	/
強度試験	監督員立会の上、強度試験を行う 養生3時間以上、20℃養生、必要強度≧24N/mmf	周囲に十分注意して	/	/	/	/	/	/	/	/	/
仕上げ	発生材や道具を片付ける 清掃道具で場内清掃を行う 場内状況及び清掃状況を確認する	車線側、他の作業員等十分周囲に注意して	片付け作業やクレーン操作作業が重複し 作業員同士や、クレーンとの接触を起こす	△	△	3	職長は必ず場内全体を監視し、 全体の動きを指示しながら片付けを行う	○	○	○	1
		車線側への飛散に十分気を付けて 使用道具や、検測道具など忘れ物無いように	掃き掃除やブロー使用の際、走行車に気づかず 清掃物が飛散し、接触する	△	△	3	職長は必ず場内全体を監視し、 警笛等を用いて合図をしながら清掃する	○	○	○	1

本作業	現場離脱 帰着・駐車 後処理	25.車両回送手順書に則る
	運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに

1人作業 原則1人作業はしない。やむを得ず1人作業をする場合は現地でKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。高且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。

特記	パワーゲートを使用し荷台積み下ろし	パワーゲートを使い荷台にバルーン等を積み下ろし作業をする時は、積載物の落下またはゲート昇降による手の挟まれ、スライドバーの延伸による足挟まれに注意すること	①パワーゲートを昇降させるときは必ず声を掛け合図を行い、手・足が挟まれないことを確認し安全を確保してから昇降させる。 ②バルーン等のタイヤロックを外す時は、必ず声を掛け合図を行い、保持を確認して安全を確保してからロックを外すこと	声掛け合図を怠り、積載物またはゲートに手足をはさまれて怪我をする	○	×	3	パワーゲートを使用する際は必ず2人以上で作業をし、ゲートの昇降をする場合は声を掛け合い挟まれないように安全を確保してから昇降させる。	○	○	1
	台車を使用する場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逸走による車両等への接触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逸走し走行車両と接触する	△	△	3	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から遠い位置に仮置き。強風の場合はウェイトを置く。	○	○	1